

事業の考え方及び管理運営専門分科会での意見（自主事業等の考え方、第 2 回基本設計案についての管理運営専門分科会の意見）

＜大ホール系機能＞

事業の考え方		管理運営専門分科会での意見
想定される事業	全国規模の音楽祭の開催（吹奏楽、合唱）、市民参加オペラ、ミュージカルなどの総合芸術制作事業、市民参加による創作公演制作事業、市民参加の合唱付き演奏会（第 9、メサイヤなど）	
舞台・客席	○想定している事業を行う上で無理がないか。 ○オーケストラピットは必要か。（8割がた、張り出し舞台として使用）	<p>◎オーケストラピット（電動）は必要である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合舞台芸術を行うならばオーケストラピットは必ず必要となる。（井上） ・オケピは、オペラ・バレエ上演のためだけでなく、前舞台に使うことも想定される。（井上） ・予算が無いから造れない、といったレベルの話ではなく、創造していくためには絶対に必要である。（井上） ・張り出し舞台ができる、オケピが上がり下がりする機構があることにより、上演できるものの幅が広がる。音響的に舞台を張り出したほうが良い催し、能や歌舞伎、ミュージカルなどの演出など、様々な場面で必要となってくる。（伊藤） ・200名の合唱団に60名のオケだと、前舞台必要である。（伊藤） ・「芸術文化創造センター」としては、絶対に欠かせない、整備しなければいけない物であり、電動式や油圧式で、即座に用意出来るものが必要である。（井上） <p>○1F客席のトイレの男女比</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女トイレの面積を同一にせず、男子トイレを減らし、女子トイレにした方が良い。（桧森）
楽屋		<p>◎大ホールと小ホールの裏動線の完全分断</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貸館をするので、大ホールと小ホールが独立して動けなければならない。楽屋の入口が大ホール下手側にあるが、大ホールエリアを通らないと小ホール楽屋にいけない。（井上） ・大ホールと小ホールの主催者が別というのはあり得るので、楽屋口は完全にわかれてなければならない。また、小ホール楽屋と大ホール楽屋は、施錠したら行き来できないようにしなければならない。（桧森）
その他		○映像への対応の必要性

＜小ホール系機能＞

事業の考え方		管理運営専門分科会での意見
想定される事業	演奏会、弦楽アンサンブル、リサイタル、発表会、演劇公演、講演会、人形浄瑠璃、邦楽（日本舞踊など）	
舞台・客席	○想定している事業を行う上で無理がないか。（大ホールや大スタジオに機能分担させるか） ○演奏会、発表会、講演会はどのくらいの規模が出来そうか。 ○大規模事業の大ホールの控室利用ができるか。（規模、動線）	<p>◎舞台広さは6間×5間でよいか</p> <p>◎残響をコントロールできるようにすること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小ホールでは室内楽から伝統芸能まで様々な催しをすることを想定しているが、音響可変はきちんとできるか。小ホールの音響は残響可変ができることを前提に話してきた。（伊藤）
楽屋		<p>○楽屋は小楽屋も設置すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ大きさの部屋が3つあるので、1つは小部屋のようにしてもよい。（桧森） ・区切れば合唱団などの大人数でも区切って使える。（井上） ・「なんにでもなる部屋」を造っておく。狭くても一人になれる部屋が必要である。（伊藤）
その他		<p>◎もぎり位置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小ホールのもぎり線はどこなのか。（伊藤） <p>○映像への対応の必要性</p>

<展示系機能>

事業の考え方		管理運営専門分科会での意見
想定される事業	市民文化祭、市美術展覧会、自主事業の企画展、映像展示	
ギャラリー	○想定している事業を行う上で無理がないか。(大スタジオやロビーとの連携) ○映像展示をギャラリーでやるのか。(暗転できるか)(大スタジオとの機能分担)	◎子どもワークショップギャラリーは不要 ・アトリエ機能と、ギャラリー機能は明確に分けるべきである。(三ツ山) ・2階にワークショップルームがあるが、そこで何をするのか。イメージの整理をしなければ機能にも反映できない。(三ツ山) ・ギャラリーの近くにある「子供ワークショップギャラリー」は機材庫とすべき。(三ツ山)
備品庫・収納		◎機材庫に水場はなくてもよい ・機材庫自体に水場があるかというよりは、裏のトイレや控室などの部分に水場があっても構わない。彫刻台、展示用のライト、ワイヤーフックなど、備品でいっぱいになる。(三ツ山)
その他		◎ギャラリーと大スタジオとの連動性の確保 ・大スタジオとギャラリーを連動するようなプロジェクトが出来るべきである。(伊藤)

<創造系・支援系機能>

大スタジオ

事業の考え方		管理運営専門分科会での意見
想定される事業	大ホールの実業の稽古、練習会場（鏡の壁面）、演劇公演（小劇場）、講演会、研修会、おさらい会、100～150名の合唱練習、バレエ、ダンスなどの練習、小規模ライブ（JAZZや小スタジオを使う人たち）の発表の場	
大スタジオ	○想定している使い方ができるか。無理がないか。 ○小劇場として活用できるか。	◎基本計画にあるとおり、8間×8間を必ず確保すること ・大ホールの舞台面と同じ広さが、大スタジオで確保できねば、基本計画の目標が達成できない。（伊藤） ・大ホールの舞台の幅が8間ならば最低8間は絶対必要である。本当は8間よりもっと幅が欲しい。（井上） ・大型の合唱大会を行う時には、大スタジオでリハーサルした後に舞台上がるという動線を作る。そのため、大スタジオは大ホール舞台面と同じ広さがあり、ピアノが置かれ、出掛けの練習ができる必要がある。（伊藤） ・大スタジオにも、本番と同じように山台を組んで練習できると良い。（桧森） ◎公演が可能な設備の必要性 ・大スタジオは演劇が出来るように照明や、展示ができるような仕組みも必要だ、ということでは言われていた。（伊藤）
	○仕込・バラシの省力化をどう考えるか。（→ロールバックチェアは必要ないか）	◎大スタジオは何もない状態にできること ・大スタジオは演劇空間など、何でも利用できる空間なので、空にならなければならない。仮に鏡があっても、隠せるようにしなければならない。（伊藤） ・レクソナーは組み立て式があるので、固定しなくてもよい。鏡も今はアルミのなどがあるので備え付けなくてもいい。何よりも、そこで色々な催しが出来るといことが大事。さらにギャラリーの一部としても利用できるならば、広くなければならず、かつ余分なものが着いてはならない。（井上）
	○大規模展示会の補助会場として使えるか。（規模、動線） →〔想定事業〕市美術展覧会、西相展	◎展示ができる設備の必要性 ・大スタジオは演劇が出来るように照明や、展示ができるような仕組みも必要だ、ということでは言われていた。（伊藤）〔再掲〕

中スタジオ

事業の考え方		管理運営専門分科会での意見
想定される事業	○50～80名程度の合唱練習、バレエ、ダンスの練習（鏡の壁面）、市民参加型事業の練習、ワークショップ	
中スタジオ	○想定している使い方ができるか。無理がないか。 ○大規模事業の際の控室として使えるか。（規模、動線） ○市民参加型事業の練習室として使用できるか。	◎小ホールの舞台の大きさを確保すること ・中スタジオの形が細長い。合唱やバレエのリハーサルができるのか。（伊藤） ・2階の中スタジオが細長すぎる。6間×5間程度はないと、何のためにあるのかわからなくなる。（桧森）

小スタジオ・ワークショップルーム

事業の考え方		管理運営専門分科会での意見
小スタジオ		◎スロープや段差を解消すること ・2階のワークショップルームにいくところにスロープと階段3段がある。スタジオと小スタジオの間もスロープ。平らにならないのか。重たいギターアンプなどを台車に乗せて、キャスターつきの物を転がせなければならない。（桧森） ・設計上必要な段差なのか、デザインの段差なのか。（三ツ山） ・デザインの段差ならば必要ない。（桧森） ・ピアノをピアノ庫からロビーを持って行けるか。段差がないか。（伊藤）
ワークショップルーム	○講座（美術、ダンス、演劇）などのワークショップ用として使えるか。 ○美術などのワークショップで水場が必要か。 ○文化団体の打合せ会議室機能として成立するか。	・創造スタッフ室という小さな部屋はとり、ワークショップを広げれば2つそれなりの広さのワークショップルームができる。（井上） ◎1室が狭く利用しにくい ・このような小さなワークショップルームでワークショップを行うのか。（伊藤） ・ワークショップルームが点在しているのが気になる。（伊藤）

創造スタッフ室

事業の考え方		管理運営専門分科会での意見
創造スタッフ室	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加活動を行なっていこうとする市民（あるいは団体）の活動拠点として使えるか。 ・打合わせや印刷などの作業をする場として使用できるか。 ・市民団体間の交流の場となるか。 	<p>◎市民の使い勝手を考慮し、もっと広くしたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在想定している創造スタッフ室よりは広い必要があるので、それを広げれば良いだろう。普通に楽屋にもなる、ワークショップにも使える、託児にも使える部屋になれば良い。(伊藤) ・創造スタッフ室は、今のままでは小さい。(伊藤) ・創造をするためには、作業をするスペースが必要となる。チラシの折込みなどの作業をするには、このスペースでは足りない。(桧森)
		<p>◎1階での配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当は1階の事務所に近くにあり、事務室の人と連携しながら出来ると良い。(伊藤) ・この創造スタッフ室は、このホールで市民主体のフェスティバルをやる際に、打ち合わせや実行委員会を行う場所として機能しなければならない。無理ならば2階でも仕方ないが、もう少し中心にいるというイメージで、外からも人が出入りしているのが感じられるのが良い。(伊藤) ・チラシの挟み込みなどの具体的な作業を考えると、やはり1階が良い。また、お客さんの動線近い場所に当日のスタッフがいないと不便である。(伊藤) ・創造スタッフ室という小さな部屋はとり、ワークショップを広げれば2つそれなりの広さのワークショップルームができる。(井上) <p>○使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会の作業場所、自主事業の企画制作をする、レセプションの研修を行うなどの場所が創造スタッフ室(桧森)
和室		<p>◎和室は基本計画に掲載されていない室で、不要である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2Fに和室があるが基本計画では想定されていないので特色となるであろう「創造」ということに関して、「創造スタッフ室」として部屋を造ったほうが良いのではないかと(井上) ・ここに和室を作る必要は無いし、和室はいらない。(井上) ・和室はいらないと思う。代わりに市民のフリースペースが大分減っているのだから、創造スタッフ室としたらどうか(桧森)
		<p>○代替案として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景色が良い場所がカフェとなれば、カフェだけの利用者がいるかもしれない。(伊藤) ・景色の一番良い場所は市民に開放しなければならない。(三ツ山) ・小さいスペースで良いので、お城が見えて自由に出入りできる、写真が撮れるようにするのが、本来は良いと思う。(伊藤)

<交流系機能>

事業の考え方		管理運営専門分科会での意見
託児室		<ul style="list-style-type: none"> ・「託児ルームにもなるような部屋」が景色のいい場所にあるのもいいかもしれない。(伊藤) [再掲]

<管理系機能・その他>

事業の考え方		管理運営専門分科会での意見
管理系諸室		<p>◎応接室の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セキュリティとしては事務所の側に配置するのが安心だろう。(伊藤) ・館長応接室などは必要だが、1階でいい。(伊藤) ・VIPに対応できる部屋は必要だが、事務所に近くないと動向が見えない。(伊藤)
外壁仕様等		<p>◎外壁を広報や宣伝等に使えるようにしたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報、宣伝のためには、看板やバナーなどを出さなければならない。(三ツ山) ・(現在の)市民会館の前に出ている看板よりも大きいサイズが必要となるだろう。(井上) ・1階のレストランの壁面、小ホールホワイエ壁面はガラスっぽいイメージを持っている。そこにバナーが降りてくることは想定していただかないとならない。(桧森) ・ポスターケースなどに付いても、言っておかねばならないということか。(伊藤) ・スケール感のあるバナーが必要である。(三ツ山)
駐車場		<p>◎楽屋口から遠い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽屋口が今の場所だとすると、駐車場から遠い(伊藤)
動線など		<p>◎裏エリアに2Fへ上がるエレベータを設置してほしい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽屋側に2階に上がるエレベーターがない。(伊藤) ・2階の中ホールやワークショップルームも楽屋として使われる可能性がある。その時の動線が裏の階段しかない。それ以外にも楽器などを運ぶことがある。(桧森) <p>◎ピアノ庫及びピアノ移動動線の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアノをピアノ庫からロビーを持って行けるか。段差がないか。(伊藤) ・2階は中スタジオにピアノが入った際に、ピアノ庫がない。また、ピアノを移動させる手段がない。(伊藤) ・場所がないならば、中スタジオ経由で出さざるを得ないが、機械室を詰めて、セミコン程度は置いておけるピアノ庫を造れないか。(桧森) ・小スタジオに持っていかはまだわからないが、移動はできるようにしておかなければならない(伊藤)